

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市左京老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく「通所介護事業」
- ・「介護予防通所介護事業」及び「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ・通所介護・介護予防型デイサービス実施とこれに伴うサービス提供（食事・入浴・機能訓練・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）
- ・認知症高齢者の積極的な受け入れや区社協協働の若年性認知症の方とのつどい「おれんじサロンさきょう」の運営協力
- ・認知症あんしんサポーター講座への講師派遣
- ・通所介護計画に基づく利用者の自立支援を目標としたサービスの提供と個別機能訓練計画に基づく心身の機能維持・向上を目的とした機能訓練やレクリエーションの実施
- ・レクリエーションや趣味などをグループ活動として実践し、心身機能の向上、生活の活性化を目的とした支援プログラム（個別機能訓練）を実施
- ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との連携
- ・サービス向上の取組とするユーザーアンケートの実施や情報公表、第三者評価の受診
- ・職員に対する法人研修や外部研修の積極的な参加
- ・中・高生の生き方探究チャレンジ体験やボランティア実習の受け入れと大学生の介護等体験実習の受け入れと世代間交流(新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし)
- ・チャレンジ就労体験者の受け入れと支援学校の実習や就労支援授業の実習者の受け入れ(新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし)
- ・地域のボランティアの受け入れや参画
- ・左京区事業者連絡会の例会と部会への参加と連携、及び連絡会主催の研修の参加
- ・地域ケア会議等への参加を通じた地域包括支援センターや医療機関、サービス機関との連携

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者：1名（併設事業所と兼務） 生活相談員：1名 看護職員：3名 介護職員：11名
機能訓練指導員（看護師）：2名 調理員：4名 運転手：3名

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っています。

5 施設の利用状況(施設の稼働率, 利用者数, 事業参加者数など)

(1) 延べ利用者数(実績値)

9050 人

(2) 実利用者数(実績値)

1037 件

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	94,462,297
利用料収入	5,780,193
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	39,010,217
収入計	139,252,707

イ 令和2年度支出状況(単位:円)

人件費	98,049,135
事業費	12,894,795
委託費	
小額修繕費	
その他	28,300,278
支出計	139,244,208

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和2年度1月にユーザーアンケート(利用者ご意見が反映できるサービス全般に関するアンケート)を実施。アンケート回収して集計。ご本人、ご家族にアンケート結果と質問への返答などを書面にて配布。

(2) 利用者満足度把握の結果

配布数80件, 回収数52件(回収率65%)

主な項目

利用時間 : 満足 86% やや満足 10% やや不満 0% 不満 0% 無記入 4%
 送迎 : 満足 92% やや満足 2% やや不満 0% 不満 0% 無記入 6%
 入浴 : 満足 77% やや満足 6% やや不満 0% 不満 0% 無記入 17%
 食事 : 満足 86% やや満足 6% やや不満 0% 不満 0% 無記入 8%
 レクリエーション : 満足 60% やや満足 15% やや不満 6% 不満 0% 無記入 19%
 個別機能訓練 : 満足 54% やや満足 17% やや不満 2% 不満 0% 無記入 27%
 プライバシー(排泄時など) : 満足 85% やや満足 2% やや不満 0% 不満 0% 無記入 13%
 職員の対応 : 満足 83% やや満足 4% やや不満 0% 不満 0% 無記入 0%

(3) 意見等への主な対応状況

今年度も集計結果を基に職員会議にて、各項目ごとに前回結果との比較から改善点等の協議した。サービス向上委員会として業務改善会議を行い、協議して改善を行った。アンケート結果は頂いたご意見に関しての回答や改善点などの説明を添付して利用者全員に配布した。食事などの要望は調理員に伝えて改善を図ったり、入浴時間や送迎方法などの要望、レクリエーションの要望に応じた改善策を考案して実施した。

7 その他特記事項

(1)

これまで30名定員での事業運営を行ってきたが、令和元年度も通期平均93.7%と高い稼働率であり、より多くの受け入れの要望に応えるため令和2年度より定員を33名に増員した。

(2)

新型コロナウイルス感染症が感染拡大する中、利用者・職員ともに感染者を出すことなく運営を継続することができた。

8 評価（指定管理者自己評価）

- ・サービス向上委員会、事故再発防止委員会を定期的に開催し、サービスの向上、事故再発防止両面を職員全体で検討する場を引き続き設けている。
- ・サービス向上委員会では、アンケート結果や苦情などの利用者・家族からのご意見をサービスにつなげる方法等について協議し、実現することで、ご本人・家族の思いを大切にされたケアの実施に繋がったと考えている。また今年度もハード面での改善計画を立て心地よい空間で過ごしていただけるよう、より良く、利用しやすいデイサービスを目指した。
- ・また、事故再発防止委員会を職員会議で開催し、事故やヒヤリ・ハットに対する職員の意識が向上し、職員全体での再発防止策が検討できている。
- ・「不適切なケア」のチェックリストを各職員がチェックし虐待防止や事故防止のツールとして、またサービス向上に役立てるために定期的に話し合い意見交換する機会を設けている。
- ・職員育成のため定期的に所内での研修を行い、法人や外部の研修にも積極的に職員を参加させている。
- ・要支援から要介護の利用者を分け隔てなく受け入れており、住み慣れた地域で暮らして続けられるよう支援していくことを使命と認識し、安心・安全を第一に考えたサービスを提供している。
- ・地域の関係機関との連携や地域事業への参加、地域との交流を通じ地域の福祉拠点として目指してきた。今後も積極的に協働事業に参加する職員体制を確保し安定した事業運営が継続できるよう努める必要がある。
- ・定員を3名増員し33名定員による運営を行った。新規受入を積極的に行い、地域の役割を果たしていくことができた。
- ・令和2年度は定員増と新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年稼働率と比較すると93.7%から88.5%と実績は低下したが、延べ利用者数は8683名から9050名と4%増となった。